

参考マニュアル

2024年5月作成

使用環境やバージョンアップにより表示画面や記載内容が変わる場合があります。

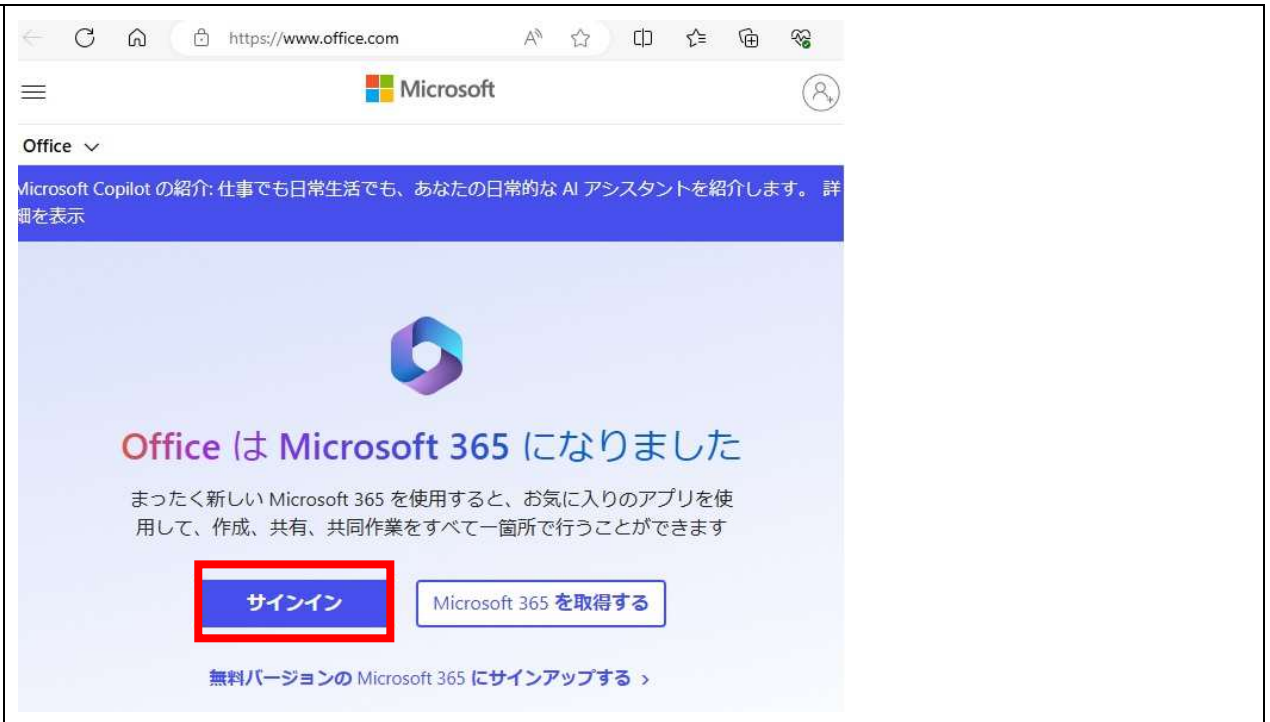
Microsoft365 インストール方法



- 他の人と共用する情報端末には利用できません。

（ライセンス違反の例）



家族で共用のパソコンや他校の友人が利用するパソコンに、自分自身の本学園発行の Microsoft アカウントで Microsoft365 をインストールする。

- 卒業や転学により、本学園の構成員でなくなるときは、インストールした Microsoft365 は利用できなくなるため、アンインストールするか、別途購入した Microsoft365 Personal 等のアカウントに切り替えて利用してください。

<p>1 Web ブラウザで「Microsoft365」と検索します。（ここでは、Microsoft Edge を使います）</p> <p>検索結果から「ログイン Microsoft 365」などを選択します。見つからない場合は、以下の URL を参照してください。</p> <p>Microsoft365 (https://www.office.com) の Web ページにアクセス後、「サインイン」を選択して、学校から配付されたアカウントでサインインします。</p>	 <p>The screenshot shows the Microsoft Office website in a browser. The address bar displays 'https://www.office.com'. The page header includes the Microsoft logo and a user profile icon. Below the header, there is a navigation menu with 'Office' and a dropdown arrow. A blue banner at the top of the main content area reads 'Microsoft Copilot の紹介: 仕事でも日常生活でも、あなたの日常的な AI アシスタントを紹介します。詳細を表示'. The main content area features the Microsoft 365 logo and the headline 'Office は Microsoft 365 になりました'. Below the headline, there is a sub-headline: 'まったく新しい Microsoft 365 を使用すると、お気に入りのアプリを使用して、作成、共有、共同作業をすべて一箇所で行うことができます'. At the bottom of this section, there are two buttons: 'サインイン' (Sign In) and 'Microsoft 365 を取得する' (Get Microsoft 365). The 'サインイン' button is highlighted with a red rectangular box. Below these buttons, there is a link: '無料バージョンの Microsoft 365 にサインアップする >'.</p>
--	---

<p>2 ※右のような画面が表示された場合、どちらを選んでも構いません。</p> <p>「はい」を選択すると次回以降メールアドレスとパスワードの入力が不要になります。</p> <p>「保存」を選択すると Web ブラウザにパスワードが保存されます。</p>	
<p>3 初回サインイン時は、チュートリアル画面が出ます。右向き矢印を何度か選択した後、ポータル画面に移動します。</p> <p>※チュートリアル画面が出てこない場合もあります。</p>	

<p>4</p>	<p>Microsoft 365 にサインイン後、ホーム画面右上にある [Office のインストール] → [Microsoft 365 アプリ] を選択してインストーラのダウンロードを行います。</p>	
<p>5</p>	<p>インストーラのダウンロードが終わると、インストールの実行に関する操作を求められます。[実行]を選択し、インストール作業を開始します。 Microsoft 365 のダウンロード/インストールができない場合があります。原因のひとつとして、以前、Office をインストールしたときのファイルなどが PC に残っていることにより、Microsoft 365 のダウンロード/インストールやアンインストールに失敗することが考えられます。</p>	
<p>6</p>	<p>ダウンロードされたインストーラを、ブラウザの右上 (MS-Edge の場合) またはダウンロードフォルダから開いてください。</p>	

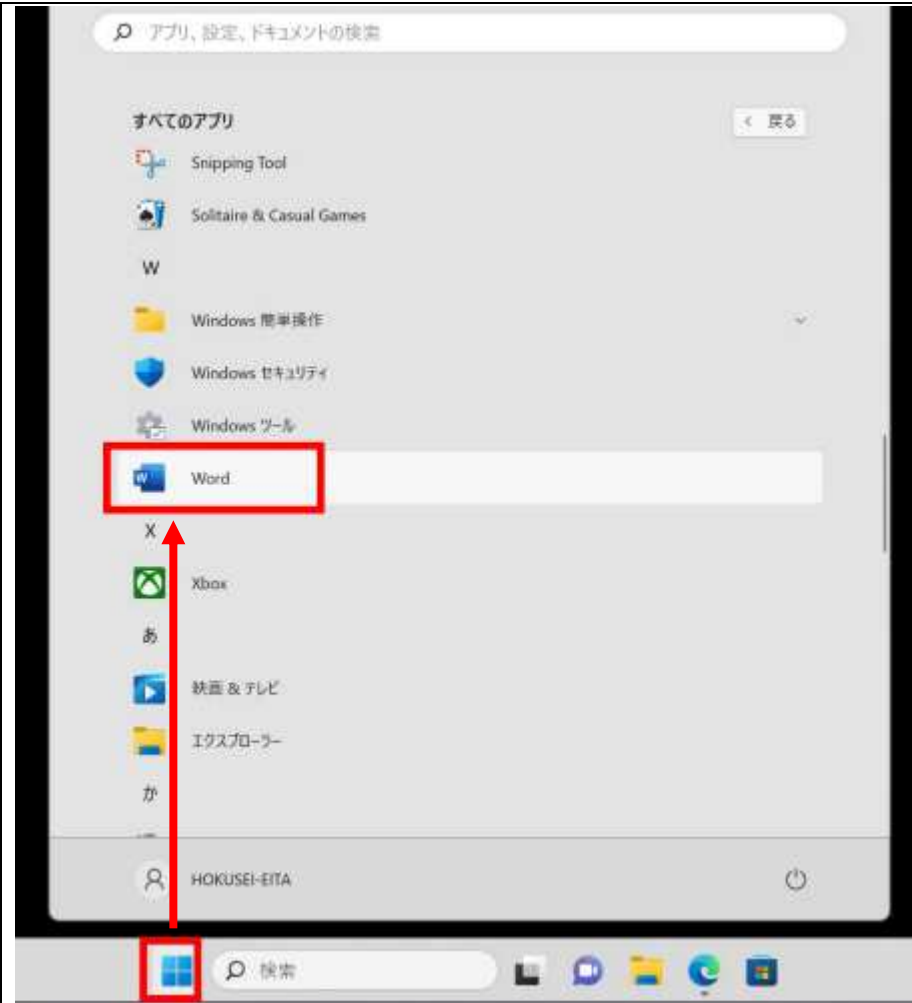
7	<p>右図のようなユーザーアカウント制御の表示が出た場合は「はい」を選びます。</p>	
8	<p>利用している端末にインストール作業が始まります。インストールが完了するまでしばらく待ちます（15～30分前後）。</p>	
9	<p>「準備ができました。Office アプリがインストールされました。」が表示されれば、Microsoft365 のインストールは完了です。「閉じる」を選択して、インストーラを終了します。</p>	
10	<p>引き続きライセンス認証を行ってください。 ※後日の実施でも構いません。</p>	

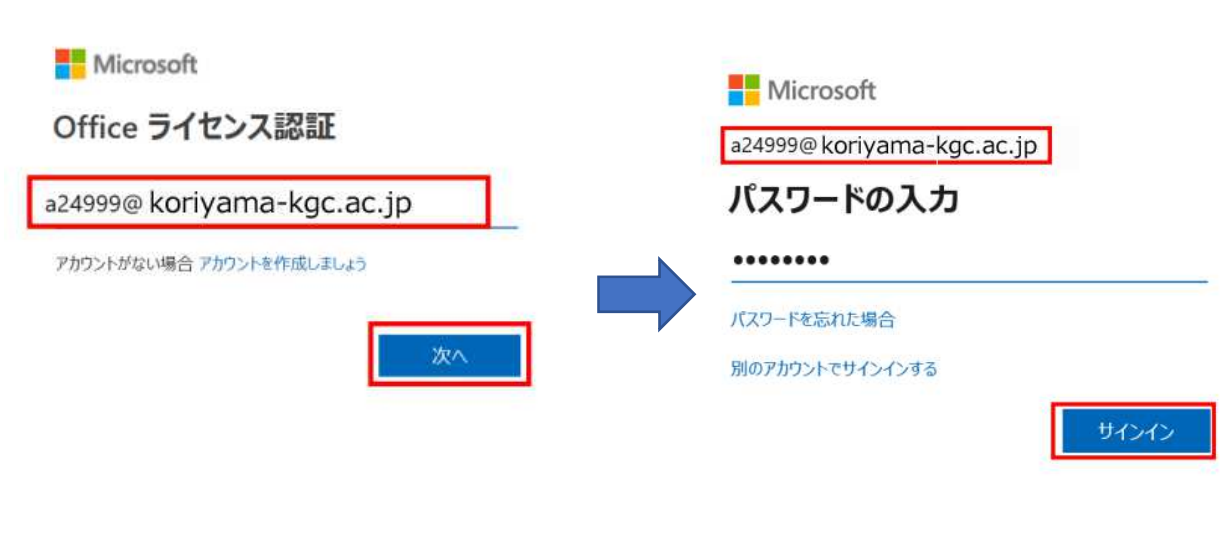
Microsoft365 のライセンス認証手順

利用する情報端末に Office をインストール後、 Word 等を初回起動した際にライセンス認証が求められるので、以下のとおり学園メールのアカウントとパスワードを入力し、サインインしてください。

インストールした Office は、インターネット経由で 30 日ごとにライセンス認証の確認が行われます。通常は自動的に行われるため、特別な操作を行う必要はありません。（30 日以上オフラインのままだとライセンス認証されず、Office は「機能制限モード」になり、表示や印刷しかできなくなります。）

- 1 スタートボタン（Windows ロゴマークのボタン）
→ アプリ一覧から「Word」を探し、起動します。
（Excel, PowerPoint でも可）



<p>2</p>	<p>アプリ起動時に「サインインして、このアカウントで（Office アプリ名）のライセンス認証を行う」画面が表示されたら「続行」をクリックします。 (例) Word 起動時画面</p>	
<p>3</p>	<p>「Office ライセンス認証」画面で、Office365 にサインインするメールアドレスとパスワードでサインインします。</p>	

<p>4</p>	<p>画面の案内に従い、進みます。</p> <p>「すべてのアプリにサインインしたままにする」画面が表示されるので、「組織がデバイスを管理できるようにする」のチェックを外して「OK」を選択します。これで Office アプリインストール完了です。</p> <p>※チェックを外し忘れても後で設定変更できます。</p> <p>※チェックを外さなかった場合「問題が発生しました」（エラーコード CAA50024）の画面が表示されることがありますが「完了」を押してください。そのまま問題なく使用できます。</p>	
<p>5</p>	<p>「ライセンス契約に同意します」の画面で「同意する」を選択します。</p> <p>これでライセンス認証は完了し、Office アプリを使用できます。</p>	